焼き板キーラック

西川材の間伐材を利用した焼き板キーラックです。
板を焚き火の中で焦がして磨くと、独特の色合いと光沢が出てきます。絵や文字を書いて、フックをつければ素敵な焼き板キーラックの出来上がり！

対象	実施時期	定員	所要時間
小学生以上	通年	１０～９０人	２時間

利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料
軍手・マッチ（ライター）・新聞紙・持ち帰り用ビニル袋	たわし・火ばさみ・ラジオペンチ・木ねじビット・ポスカ・バケツ	板・ヒートン・飾りひも・L 字フック ※炊事薪・せご板(別料金)

ねらい

・木の特性を知る。
・西川材間伐材の活用。
・自分だけのオリジナルデザインを考えながら物を作る楽しさを味わう。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、道具の準備をしていただきます。
◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください。

※近くに荷物などを置いておくとススで汚れる場合があるので、別の場所に移動しておく。
※服がススで汚れないよう注意する。(低い位置で作業する。風がある場合は風上に背中を向ける。)

準備

① 軍手をします。
② 板をひとり一枚ずつ配ります。

実施

① 炊事薪（又はせご板）を置き、火をおこします。
② 火おきたら、板を焼き始めます。
③ 火ばさみを使って、板をまんべんなく焦がします。（板が焦げ過ぎてしまったら、火の粉をとる）
④ 焦がした板を平らな所に置いて冷まします。（火の粉がついていたらとる。石の上で行うと、板に傷がつきやすい）
⑤ たわしで焦げ目がなくなるまで木目にそってよくみがきます。（こげ茶色の生地がみえてくるまで）
※落としたすすを吸い込まないよう、風向きに気をつけましょう。
⑥ 新聞紙で、自然な光沢が出るまでよくみがきます。

⑦　好きな絵を描きます。
⑧　木ねじビットで軽く穴を開けて（２mm程度）ヒートンをつけます。
⑨　ヒートンに、飾りひもを結びつけます。
⑩　Ｌ字フックをつけます。⑧と同じ要領で行うといいです。
※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。

片付け

①　道具の数を数えます。
②　道具を最初にあった場所に片付けます。
③　使った場所の掃除をし、新聞紙のゴミはお持ち帰り、または、ゴミ袋を購入してげんきプラザへ出す。
④　後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。
※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を書面にて当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

・作品を披露しあいましょう。
・ふりかえり。

留意点

①　火を使う活動です。火傷等十分注意しましょう。※火傷対策として、水をバケツに用意しておくとよい。
②　作業するときは、必ず軍手を着用しましょう。
③　たわしで焦げを出来る限り落としてから、丸めた新聞紙でみがくとよりきれいに仕上がります。
④　飾りひもは、汗などで色落ちする場合があります。

SDGs への取組

・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。